

ヒロセ電機 2023年3月期第2四半期 決算説明会

“2022”中長期成長戦略の進捗について

2022年11月4日

ヒロセ電機株式会社

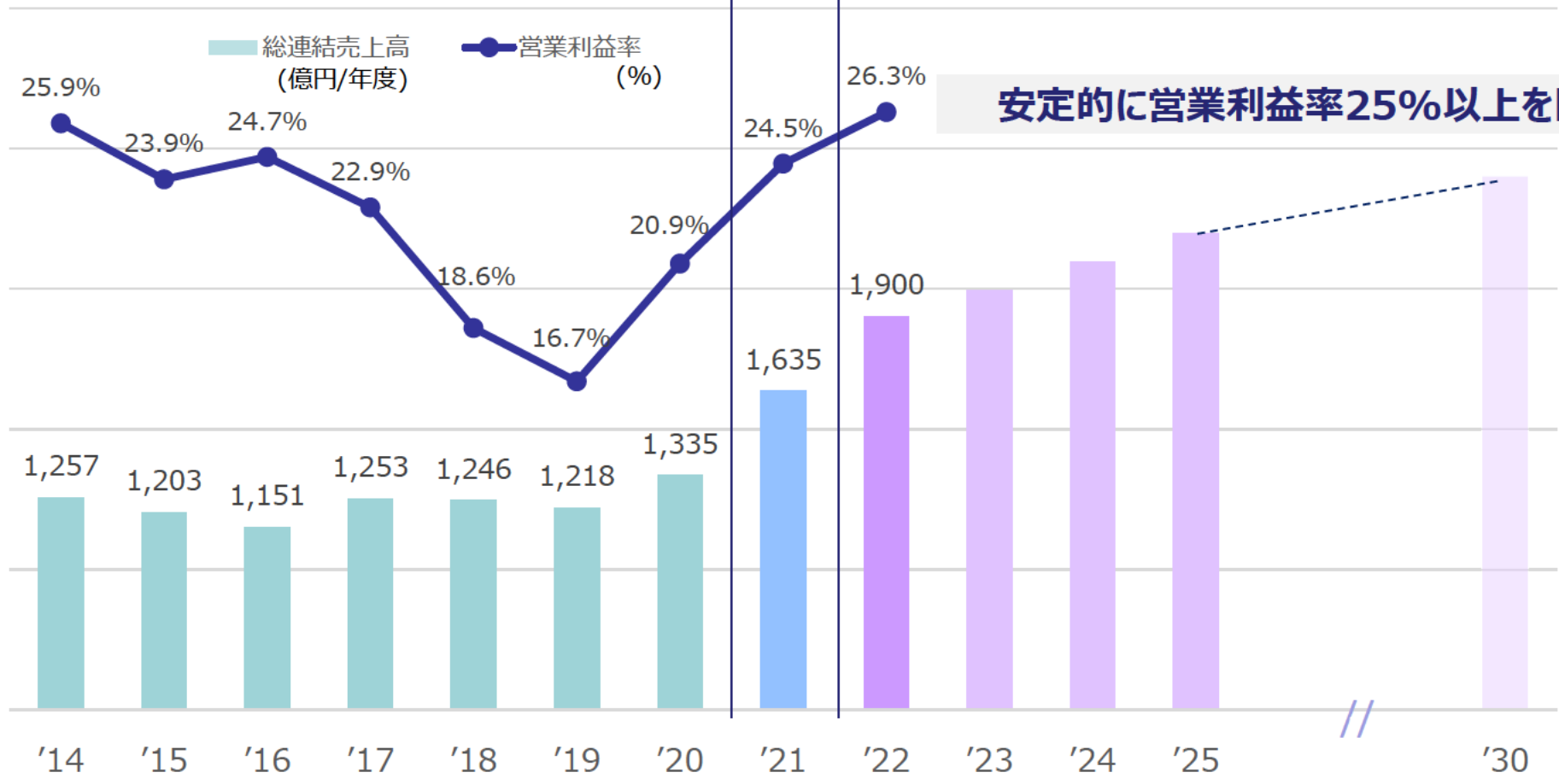
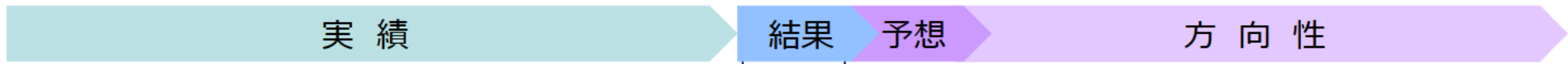
代表取締役社長
石井 和徳

注意事項

本資料には、ヒロセ電機の現時点における予測に基づく記述が含まれています。

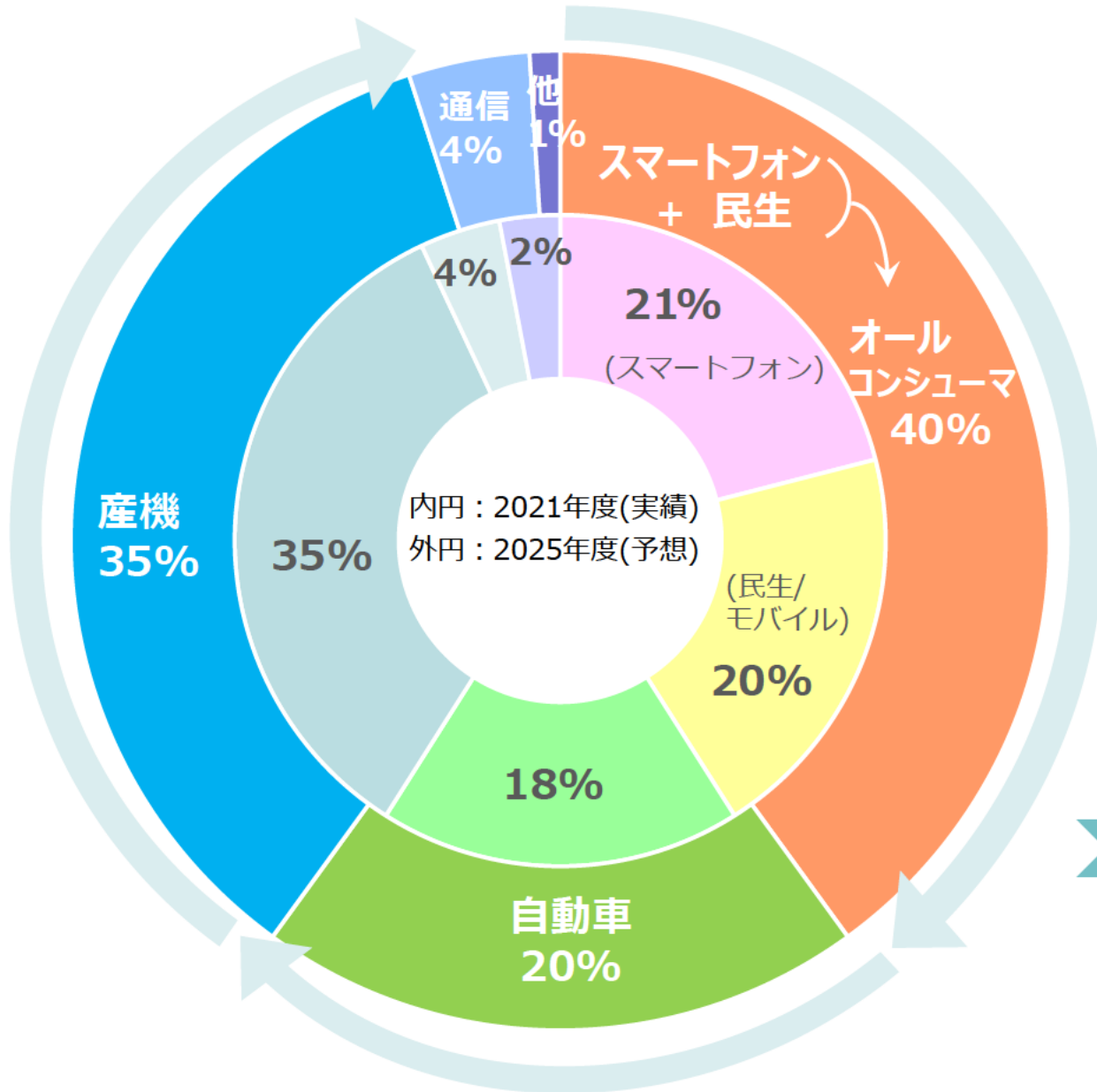
これら将来に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性その他の要因が内在しており、当社における実際の業績と異なる恐れがあります。ご承知おき下さい。

高収益経営を維持し、中長期的に継続成長



2020~2021年度 : [足場固め]
 2022~2025年度 : [本格成長]

中期 分野構成比イメージ



2021年度

- デジタル・IoTの本格化
→ コンシューマ市場の活況
- 次世代インフラ(5G)の加速
- 産機市場の高成長
→ 自動・ロボット化の加速

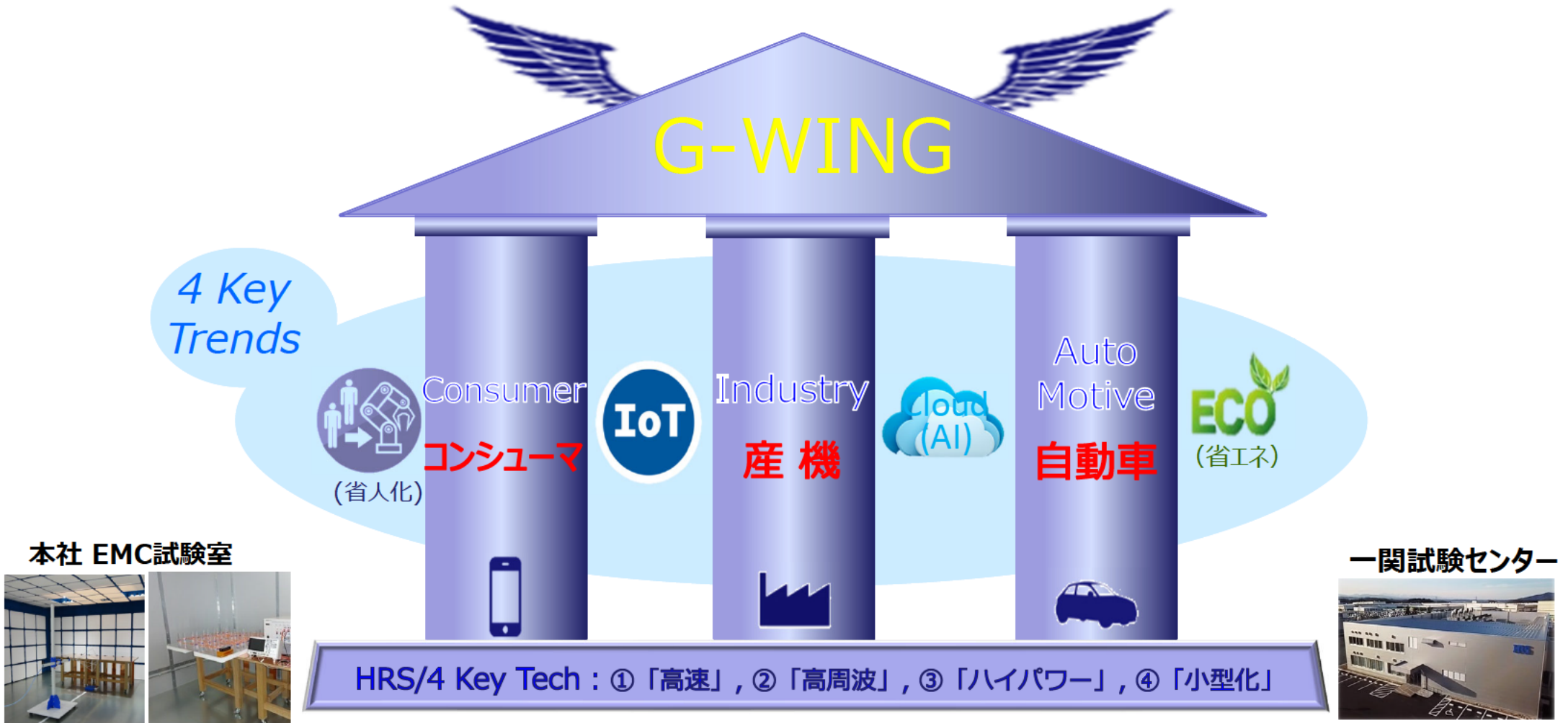


2025年度

- 「スマホ・コンシューマ」「車載」
「産機・インフラ」の3本柱での成長
- “未来”への仕掛けを強化

➡➡ バランスの良いビジネス構造で、
変化対応に強い企業体質の確立
を目指す

中期 分野戦略イメージ



分野横断的な活動により、先行・先端・差異化の提案力を高める

“英知をつなげる小さな会社”をベースに “もっと良い会社”へ継続・進化する

最新の分野別市況と今後の見通し

■ スマートフォン・民生

ITデジタル空間へのシフトが加速、Newデバイスの多様化
足下の中国の停滞感に注意は要するものの、いずれは“継続安定化”

コンシューマ市場のアプリケーションは個々人の **“ライフライン”** となる



■ 自動車

「EV・自動運転」で大きな変化

社会ネットワークの **コア・マシーン** へ



■ 産機

全ての分野において、積極的投資が進行中

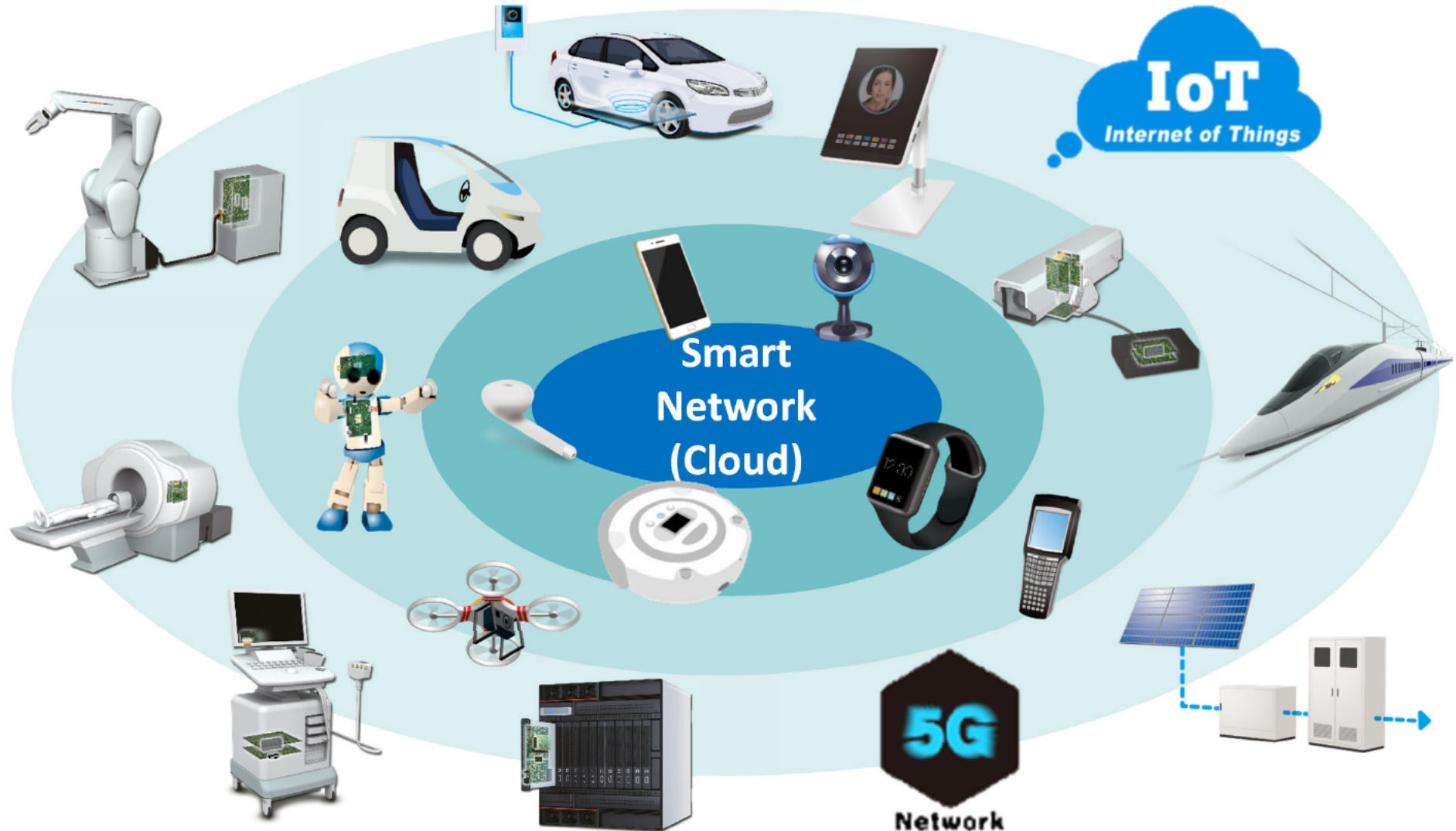
電子・電動、自動化への **インフラ対応** 加速



3本柱+aで多様な市場変化への対応力を強化

さらに成長が期待される市場

身近な機器から社会インフラに至るまで、様々なニーズの変化・拡がりに対応



“つなぐビジネス”のポテンシャルが益々拡大している

モノづくり & 機能強化

郡山〔新〕工場



[車載、産機]を中心とする
先端「モノづくり」工場

2023年度内 竣工予定
(現行の約2.7倍の延床面積)

ヒロセ コリア
精密コネクタセンター増築

[マイクロ、車載コネクタ]
の開発・生産を強化

2024年度 稼働予定
(現行の約1.3倍の延床面積)

2022年9月発表

東北アドバンスト・テクノロジーセンター



▶▶ [生産技術力の強化・エンジニアカの育成]

新たな生産設備開発拠点として岩手県盛岡市に
「東北アドバンスト・テクノロジーセンター」を設立
(2024年3月稼働予定、建築面積:2,040㎡)

2022年10月に全株式を取得した
イー・ディー・ディー社のメンバーを加え、モノづくり力を強化

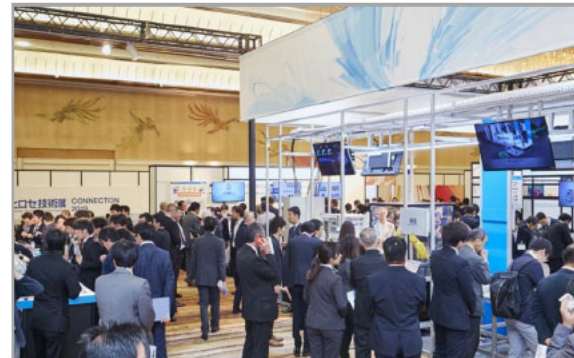
▶▶ 主要分野において、中期的な供給力、モノづくり力の対応強化 ▶▶

ヒロセ技術展 CONNECTION2022

3年に1回の技術展

「つなぐ」から未来が創られる。

11月： 横浜会場 (パシフィコ横浜ノース)
12月： 大阪会場 (グランキューブ大阪)



ヒロセ技術展の特徴

● 未来志向の技術展

展示物の殆どが新製品や開発中、コンセプト品。

● 豊富な採用事例(実機)展示

民生、産機、自動車、各業界でのご採用装置を展示(一部は分解展示)。

● 説明員は全員技術者

● 2019年は約7000名のご来場者

市場・お客様へのソリューション提案と共に
お客様の声を未来の製品コンセプトにつなげる

<<< 2022年度 >>>

➤ 「先見力と感知力・反応力」を強化し、前進する

<特なる強化ポイント>

〈1〉技術開発力・商品力（設計～量産）

〈2〉“モノづくり力”（製造強化）

〈3〉人財育成（深化元年）

本格回復
⇒ 継続成長・進化

➤ 「ヒロセ技術展」 >>> “つなぐ”から未来が創られる。 <<<



“商品力とモノづくり力”で勝負するHRSグループ



HRS HIROSE
ELECTRIC
CO.,LTD.